

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	雄牛フェロモンの同定と実用化に関する研究
研究代表者	前多 敬一郎（東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>応募者の雄効果フェロモンに関する研究において、先行研究のヤギにおけるフェロモンの同定は哺乳類では初めての成果であり、国際的にも高い評価を受けている。本研究はその成果をベースに、雄牛におけるフェロモンを同定し実用化に向けた研究を行うものであり、動物行動学、繁殖学の発展に大きく貢献するとともに、現在深刻な問題になっている乳牛の受胎率低下の改善にも大きなインパクトを与えるものと期待される。</p> <p>応募者が研究分担者として参画し、平成26年度に採択された基盤研究（S）については、研究代表者の逝去に伴い、課題を中止せざるを得なかったが、本研究は、応募者らが研究体制を再構築して再チャレンジするものであり、本研究を遂行し、雄牛フェロモンの同定とその実用化について十分な研究成果を上げることが期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>